



キット構成

製品番号	製品名
1722055	抗マウスサブクラス抗体

構成品:

9700567	Rabbit Anti-Mouse IGG1, 10 ml
9700610	Rabbit Anti-Mouse IgG2a, 10 ml
9700613	Rabbit Anti-Mouse IgG2b Antiserum
9700614	Rabbit Anti-Mouse IgG3 Antiserum
9700623	Rabbit Anti-Mouse IgM Antiserum
9700624	Rabbit Anti-Mouse IgA Antiserum
9700627	Rabbit Anti-Mouse IgG Kappa Antiserum
9700629	Rabbit Anti-Mouse IgG Lambda Antiserum

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IGG1, 10 ml
製品コード 9700567
整理番号 9700567
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na ₂ HPO ₄	(1)-497	既存	7558-79-4
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH ₂ PO ₄	(1)-497	既存	7558-80-7
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN ₃	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C ₉ H ₉ HgNaO ₂ S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	保護手袋を着用すること。 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0 ° C
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。

(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

データ不足のため分類できない。

(粉じん・ミスト)

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性

データ不足のため分類できない。

皮膚感受性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

発がん性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖毒性

(生殖毒性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

誤えん有害性

動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報	
連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社
その他	この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IgG2a, 10 ml
製品コード 9700610
整理番号 9700610
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na2HPO4	(1)-497	既存	7558-79-4
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH2PO4	(1)-497	既存	7558-80-7
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN3	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C9H9HgNaO2S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用すること。
	眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0 ° C
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。
(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)

皮膚腐食性／皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性
皮膚感受性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

発がん性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖毒性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性)

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

誤えん有害性

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報	
連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社
その他	この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IgG2b Antiserum
製品コード 9700613
整理番号 9700613
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na ₂ HPO ₄	(1)-497	既存	7558-79-4
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH ₂ PO ₄	(1)-497	既存	7558-80-7
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN ₃	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C ₉ H ₉ HgNaO ₂ S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用すること。
	眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0℃
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20℃)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。
(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)

皮膚腐食性／皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性
皮膚感受性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

発がん性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖毒性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性)

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

誤えん有害性

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壌汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報	
連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社
その他	この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IgG3 Antiserum
製品コード 9700614
整理番号 9700614
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na ₂ HPO ₄	(1)-497	既存	7558-79-4
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH ₂ PO ₄	(1)-497	既存	7558-80-7
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN ₃	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C ₉ H ₉ HgNaO ₂ S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	保護手袋を着用すること。 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0 ° C
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。

(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

データ不足のため分類できない。

(粉じん・ミスト)

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性

データ不足のため分類できない。

皮膚感受性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

発がん性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖毒性

(生殖毒性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

誤えん有害性

動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報	
連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社
その他	この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IgM Antiserum
製品コード 9700623
整理番号 9700623
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報

H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH ₂ PO ₄	(1)-497	既存	7558-80-7
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na ₂ HPO ₄	(1)-497	既存	7558-79-4
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN ₃	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C ₉ H ₉ HgNaO ₂ S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用すること。
	眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0 ° C
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。
(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)

皮膚腐食性／皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性
皮膚感受性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

発がん性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖毒性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性)

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

誤えん有害性

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壌汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報 連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献 その他	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社 この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IgA Antiserum
製品コード 9700624
整理番号 9700624
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na2HPO4	(1)-497	既存	7558-79-4
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH2PO4	(1)-497	既存	7558-80-7
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN3	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C9H9HgNaO2S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	保護手袋を着用すること。 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0 ° C
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。

(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

データ不足のため分類できない。

(粉じん・ミスト)

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性

データ不足のため分類できない。

皮膚感受性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

発がん性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生殖毒性

(生殖毒性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

誤えん有害性

動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報 連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献 その他	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社 この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IgG Kappa Antiserum
製品コード 9700627
整理番号 9700627
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na2HPO4	(1)-497	既存	7558-79-4
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH2PO4	(1)-497	既存	7558-80-7
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN3	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C9H9HgNaO2S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	保護手袋を着用すること。 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0 ° C
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。
(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)

皮膚腐食性／皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性
皮膚感受性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

発がん性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖毒性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性)

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

誤えん有害性

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報	
連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社
その他	この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。

作成日 2022/04/14
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Rabbit Anti-Mouse IgG Lambda Antiserum
製品コード 9700629
整理番号 9700629
供給者の会社名称 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
住所 〒140-8641 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F
担当部門 ライフサイエンス
電話番号 03-6361-7000
FAX番号 03-5463-8480
電子メールアドレス life_ps_jp@bio-rad.com
推奨用途 試薬

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(経皮) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報

H301 飲み込むと有毒
H310 皮膚に接触すると生命に危険

注意書き
安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P361+P364)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	1-100%	H2O	-	-	7732-18-5

gamma globulin	0.1-1.0%	-	-	-	9007-83-4
塩化ナトリウム	-	NaCl	(1)-236	既存	7647-14-5
第二リン酸ソーダ(無水)	-	Na2HPO4	(1)-497	既存	7558-79-4
第一リン酸ソーダ(無水)	-	NaH2PO4	(1)-497	既存	7558-80-7
アジ化ナトリウム	0.025-0.1%	NaN3	(1)-482	既存	26628-22-8
エチル水銀チオサリチル酸	0.01-0.1%	C9H9HgNaO2S	-	-	54-64-8

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
特別な処置が必要である。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。
棒状水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋、保護衣を着用すること。
	接触回避 安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置 設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用すること。
	眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護	必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体
形状		液体
色		無色
臭い		無臭
融点／凝固点		0 ° C
沸点又は初留点及び沸点 範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		6.8
動粘性率		データなし
溶解度		水 完全混和性
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		23 hPa (20°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常通りの使用方法では分解しない。
危険有害反応可能性		危険な反応は起きない。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		知られている範囲では存在しない。

危険有害な分解生成物

知られている範囲では存在しない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

急性毒性推定値が56.25mg/kgのため区分3とした。
急性毒性推定値が20mg/kgのため区分1とした。
(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)

皮膚腐食性／皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感受性
皮膚感受性

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

発がん性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖毒性

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性)
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

誤えん有害性

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期
(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

水生環境有害性 長期
(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が<10%のため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
特殊廃棄物回収業者に引き渡して処理することを推奨する。
上記がやむを得ず不可能な場合、関係当局の規則に従って処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制

非該当
毒劇及び劇物取締法の規定に従う。
消防法の規定に従う。

海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令
労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法

危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号)
劇物(指定令第2条)
[(2-カルボキシラトフェニル)チオ](エチル)水
銀ナトリウム0.1%以下を含有する製剤(0.01-
0.1%)

化学物質排出把握管理促
進法(PRTR法)
消防法

非該当

水質汚濁防止法

第5類 自己反応性物質 金属のアジ化物 第一種自
己反応性物質
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定め
る省令第1条)

大気汚染防止法	有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)
海洋汚染防止法	個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
道路法	輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
農薬取締法	販売禁止農薬(法第18条第2項、平成15年3月5日省令第11号)
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報	
連絡先	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ライフサイエンス 03-6361-7000
参考文献	「ezSDS」日本ケミカルデータベース株式会社
その他	この情報は、現在の自社の認識に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、製品の特性を保証するものではありません。本MSDSは情報提供を目的としていますので、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。